



学校だより

横浜市立秋葉中学校

電話811-6773 FAX813-9438

令和7年度を振り返って ～今後の教育課程（R9年度修学旅行等）について～

校長 柿崎 順子

今年度は、令和7～9年度中期学校経営方針のスタートの年でした。その中で「教育課程全体で育成を目指す資質・能力」として、〈課題を見出し、解決しようとする力〉

〈自己を振り返り、自己調整する力〉〈他者と対話し、相互理解を深める力〉の3つを掲げています。次期学習指導要領に向けた「論点整理」や「横浜市教育振興基本計画」でも、同様の力の育成が重視されています。

次期学習指導要領の方向性



生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、
自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む



横浜の教育が目指す人づ

くり

みずか まな しゃかい 自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

(横浜教育ビジョン2030)

2月16日に行われた秋葉小・中学校運営協議会でも、「自分づくり教育」や「社会参画しようとする力の育成」に期待する声をいただきました。

先に掲げた3つの力は教育課程全体で育成していくのですが、中でも「総合的な学習の時間」の果たす役割が大きいと考え、3年間一貫したテーマで学習を取り組むことで、学びを深めていこうと考えています。また、現3年生が3年間平和学習に取り組み、修学旅行もその関連で広島を訪れたように、校外学習と関連させることでより学びを充実させたいとも考えています。

今年度の1年生は「キャリア」と「防災」を軸に学習を進め始めました。「キャリア」では、これまで取り組んできた「職業講話」「職場体験」を継続していますが、「防災」を軸とした学習については秋葉中学校として初めての学習に挑戦しています。今年度は、区役所や消防署のご協力をいただいた体験学習や様々な条件に合わせた防災リーフレット作成に取り組み、2月17日には、市庁舎1階アトリウムでの報告会に、学年代表4名が参加しました。(中学生の参加は10年間の取組の中で初めてだったそうです。)

2年次、3年次の校外学習も「防災」と関連付けることで、学びを深めていこうと考え、自然教室では宿泊先は今年度と同じですが訪れる施設を変更し、修学旅行では行先を東北地方に変更する予定です。東北地方は、東日本大震災からの復興の歩みを続けている地域です。被災地の方々の語りや復興の現場に触れることは、教科書だけでは得られない「生きた学び」となります。

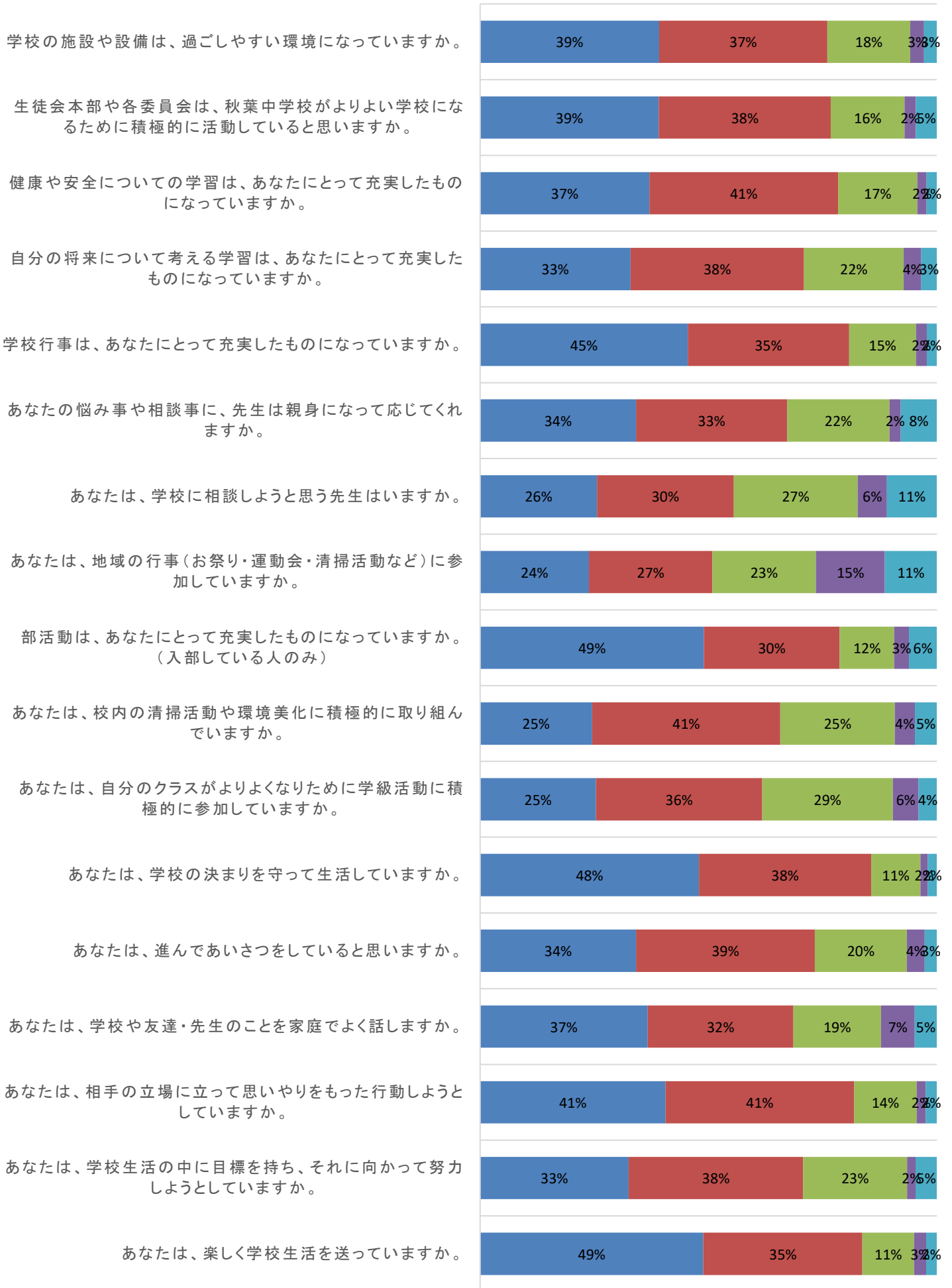
3年間を通して防災を軸に探究のプロセスを繰り返して学習を進めることで、先に掲げた3つの資質・能力とともに「地域の一員として社会に参画・貢献しようとする力」の育成につながると考えています。

最近読んだ『10年後のハローワーク』という本には、AIにはできず、人間にできることとして「意思決定」が挙げられていました。私は「課題設定」もまた、人間にしかできない営みだと思っています。「課題を見出し、解決しようとする」からこそ、その過程でAIを活用できます。AIには、課題を設定したり、解決しようとしたりする「意思」はありません。

だからこそ、子どもたちには、人間だからこそ発揮できる力をしっかり身に付けてほしいと願っています。

令和7年度 生徒による学校評価集計結果(全校%)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない



令和7年度 保護者による学校評価集計結果 回答数361

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 分からない

